



5年生宿泊学習・・・「優しさ」「たくましさ」

～北浦小児童の「よさ」「強み」を感じた2日間～

23・24日の5年生宿泊学習が無事終了しました。昨年度は実施できなかった5年生宿泊学習を実施できたことに対して、御家族の皆様のご御理解・御協力に感謝いたします。

私も同行した宿泊学習では、5年生児童のよさ・強みをたくさん発見することができました。2つに絞って書かせていただきます。

1 「ひとのために」を体現した優しさ

バスへの乗り降りの際に、大きな荷物を移動するのを手伝ってあげたり、順番を先に譲ってあげたりして、「優しい児童がいるんだな」と思いました。砂浜では、各グループで役割分担をして砂の芸術作品を協力して作っていました。自分の役割が終わってしまった友達に、「こっち手伝って」と声を掛け、正に

協力して取り組んでいます。2日目のウォークラリーは、各チェックポイントで問題や活動が与えられ、時間内にゴールを目指すゲームです。あるグループが最後の問題をクリアして、あとはゴールを目指すだけになった時、グループの一人が「水筒がない」と訴えました。どうするのか見ていると、誰もなくグループ全員で、これまで歩いてきたコースを戻りながら、水筒を探していました。幸い水筒はすぐに見つかり、その後、ゴールを全員で目指して走って行きました。



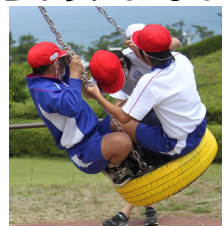
これらの行動を今回の宿泊学習で、5年生児童は当たり前に行っていました。つまり、5年生全体が優しい児童で、普段の学校生活でも「ひとのために、ひとはだぬぐこと」が当たり前に行えるのだと感動しました。

2 集団行動から見たたくましさ

1日目は、砂浜での砂の芸術、アスレチック遊び、塩づくり、ナイトハイク。2日目は、ウォークラリー、アスレチック遊び、貝の根付と2日間盛りだくさんの内容にもかかわらず、一人も脱



落することなく取り組んでいた5年生児童のたくましさに感動しました。しかも、どの活動にも手を抜かないことも素晴らしかったです。アスレチックのタイヤがぶら下がった回転ブランコは大人気でした。ある児童がやりたいのだけれども、自分から言い出せずにやれないでいたら、周りの友達がその子を、次にやらせてあげていました。貝の根付は自分から使う道具を準備し、貝に布を巻くのを手伝ってもらいながら、お互いに助け合って、1時間で全員が完成させることができたことも本当にすごいと思いました。



課題は、「先生方の指示待ち」からの脱却!、自分たちで「こうしたい。ここはもっと工夫したい。」と考え、主体的に活動することです。「主体的」とは、自分たちが主役となって活動することです。来年度の宿泊学習は、今年の6年生の活動を参考にしながらも、是非、自分たちで考え、より工夫された活動になっていくことを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様のご御理解・御協力があり、遠足・宿泊学習と昨年度できなかった行事をすべて実施することができました。心より感謝申し上げます。二者面談、運動会等についてもよろしくお願ひいたします。

「校訓碑を書かせていただきました。」

6月25日茨城新聞・記者手帳に「本校校訓とそれを書かせていただいた私の思い」が記事として掲載されました。

校訓策定委員の皆さんから、「校訓書は校長先生に」と言われ、その重責を果たすことができたこと、北浦地区の子供たちの目指す人間像を明文化し校訓碑として今後引き継げることをうれしく思います。また、こうした機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。来校された際は、是非ご覧ください。

